

JABEE 対話会報告

2017/12/27

12月09日(土)、第9回学生と技術士の対話会を開催しました。

学生参加者6名、技術士参加者11名。

今年度は、初めての試みとして、日本技術士会青年技術士交流委員会のご協力により、5名(慶應技術士会会員2名を含む)の青年技術士に参加していただきました。

終了後のアンケートでは、

1. 現場に所属した後、どのようにステップアップをして、理系職として生きるか具体例が見られた。
2. 技術士という資格が自分自身のステータスとして役立つことを知ることができた。
3. 技術士の資格により海外において認められることができ、多様な分野で活躍できることが分かった。
4. 技術士の仕事の幅広さ、技術士会のネットワークの重要性が分かった。
5. 職種やその後の進路を考える上で、「JABEE」の有用性を全体に話す場として欲しい。

等々の感想があり、

6. 現場で感じる、こういう分野を学習しておくの良いなど、学生に対して学んでおいてほしいことや身につけておいて欲しい考えがあれば伺いました。
7. 技術士の資格の取り方や資格を取る上で、仕事で意識すべきこと。

等々の質問が寄せられました。

また、青年技術士交流委員会の参加者からは、

8. 学生との対話による技術士の啓蒙を模索しており、参加できたことに感謝している。
9. 学生、先輩技術士(年寄)双方の話を聞けて、有意義であった。

との感想がありました。

対話会に参加してくれた学生諸君に、技術士制度を理解してもらい、技術士資格を意識してもらう、という目的は達成できていることが伺えます。しかし、例年、参加学生が少なく、より多くの学生に参加してもらうよう、学校と協力しながら活動を継続することが課題となっています。



対話会の様子